

地域のつながり！ 減量のたのしさ!!

= きしわだ = 推進員だより

「推進員だより」は岸和田市廃棄物減量等推進員の活動や市の施策を紹介します。



岸和田市廃棄物減量等推進員視察研修会

平成 23 年 3 月 2 日 (水) に岸和田市廃棄物減量等推進員リサイクル関連施設視察研修会を参加者 62 名で実施しました。

最初に訪問したのは、兵庫県高砂市にありますキッコーマン株式会社 高砂工場です。製造工程から発生するしょうゆ粕は、ほぼ 100% 飼料に再生利用されているそうです。

つぎに向かったのは、兵庫県姫路市にあります関西電力姫路第一発電所。ここでは、CO₂の削減を意識した発電や地域に配慮した環境保全に取り組んでおり、推進員の皆さんも熱心に聞いておられました。

(裏面に続く)



キッコーマン株式会社 高砂工場

3月2日(水)早朝7時半に集合して頂き、バスに揺られること2時間、「キッコーマン株式会社 高砂工場」に到着しました。

キッコーマングループでは、「廃棄物の再利用」「容器の軽量化」「地球温暖化防止」など様々な環境問題に取り組んでおります。

今回の研修では、製造工程から発生するしょうゆ粕の飼料化についてお話を伺いました。しょうゆ粕は、栄養分が豊富で安全性な飼料として古くから利用されてきました。そして、2007年には「しょうゆ粕」100%の飼料化を実施しています。



関西電力姫路第一発電所

関西電力での廃棄物対策についての取組は、事前にバスの車中で説明がありました。街中でよく見かける電柱は、コンクリートくずと鉄筋に分けられ路盤材や製鉄の原料にリサイクルされています。

灘菊酒造「西藏」での昼食を終え、関西電力姫路第一発電所に到着しました。

姫路第一発電所においては、人と環境にやさしい発電所をめざして、LNGを燃料に発電を行っているが従前の発電効率を大幅にアップするシステムの導入により化石燃料の有効利用に取り組んでいます。

視察研修 終了

午後5時15分頃に視察研修を終え無事帰ってきました！

今回の研修を通して得たことを、それぞれの地域の皆さまにお伝えください。

ペットボトルステーション収集のモデル事業

岸和田市では平成 18 年 11 月に「天神山校区」、平成 23 年 1 月より「畑町」「上町」の地域において、ペットボトルをごみ置き場（ステーション）で回収するペットボトルステーション収集のモデル事業を実施しております。

現在、岸和田市では、一部の公共施設やスーパー等でペットボトルの拠点回収を行っており、平成 21 年度には 87t を回収しております。しかし、ごみ置き場（ステーション）で回収をしている貝塚市と比較してみると、約半分（1 世帯あたりで直すと約 5 分の 1）の量しか回収できていません。

また、プラスチック類に混入しているペットボトルの割合も非常に高い事もあり、ごみ置き場（ステーション）での収集について検証することとなりました。



『リサイクル品 無償譲渡会』を行いました

平成 23 年 2 月 23 日(水)・24 日(木)の 2 日間、環境事務所内で、リサイクル品の無償譲渡会を行い、小型家具やベビー用品、小物など 130 点を展示し、356 名の方々に来場いただきました。

また 25 日(金)には、岸和田市消費生活研究会の方々のご協力により、応募のあった 98 点の公開抽選を行い、市民の方々に譲渡しました。



ごみの行方～出されたごみは何処へ～

ごみの行方シリーズも3回目になりました。今回は、プラスチック類についてお話をさせていただきます。

市民のみなさんが分別排出し岸和田市が収集したプラスチック類は、国が指定した法人（財団法人 日本容器包装リサイクル協会）を通し、リサイクル事業者にて再商品化されています。



上図の工程を経て、再商品化製品（原材料）となって、さまざまな製品にリサイクルされるわけですが、異物や汚れたプラスチック類が多くなるとリサイクル事業者の受入基準に適合しなくなる事もあります。汚れたプラスチック類は「普通ごみ」へ出して下さい。

今後も、プラスチック類の正しい分別に一層のご協力をよろしくお願いします。